

# 「第1回 大鳴門橋自転車道検討部会」の開催結果について

資料3



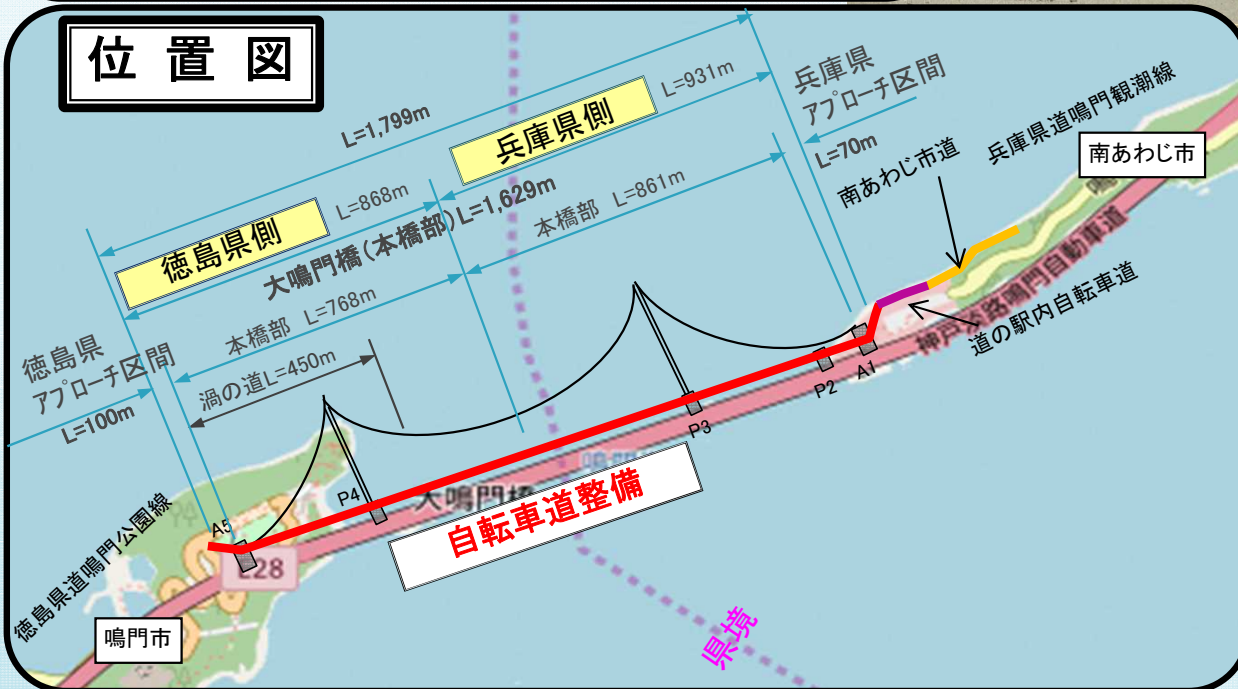
# (1) 大鳴門橋自転車道 事業概要

## 事業概要

- 事業区間：  
徳島県鳴門市～兵庫県南あわじ市
- 延長：約1.8km  
(徳島県：0.87km、兵庫県：0.93km)
- 計画幅員：4.0m (標準部)  
(自転車道2.5m+歩道1.5m)
- 総事業費：58億円  
(徳島県：28億円、兵庫県：30億円)
- 事業期間：令和5年度～令和9年度



## 位置図



## 目的

- ・ 交流人口の拡大 (鳴門海峡の往来)
- ・ 観光振興の推進 (サイクルツーリズムの推進)
- ・ 自転車人口の拡大に繋げる



## (2) 検討部会での主な意見と今後の検討方針等

<意見:「渦の道」エントランス部>

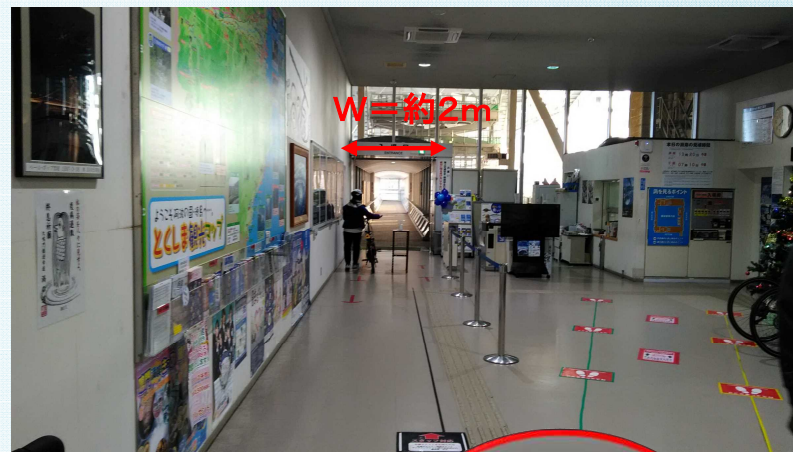
● 拡張が必要

→ 出入口、チケット收受部の拡張を検討中

<出入口>



<チケット收受部>



## <意見:「渦の道」アプローチ橋>

- 拡張が必要
- クリート靴を考慮し、滑りにくい耐久性のある舗装の検討が必要

→ 一部新設、一部拡幅する方向で検討中

→ 舗装の種類を、今後、検討



一部新設(県道まで延伸)  
※高低差があるため、  
斜路付き階段(W=約2m)を検討

一部拡幅  
※W=2m→3mを検討

- ・自転車は押し歩き
- ・自転車・人の通行区分は、今後検討

## <意見:利用対象車種>

- ルールは、開業までに議論、開業後もアップデート
- インバウンドで利用する自転車を考慮し、  
「自転車幅60cm以内」のルール(案)は外した方が良い

### →引き続き、検討部会等で議論を継続

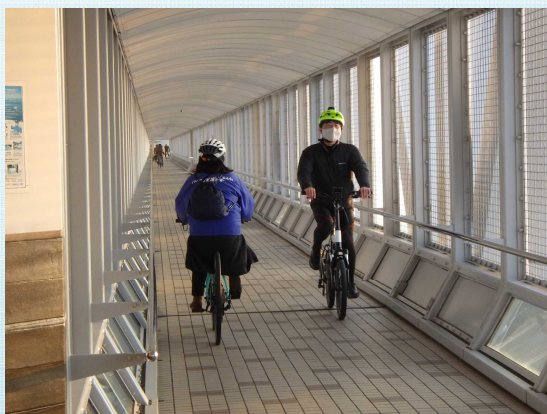
※すれ違いを考慮し、押し歩き時の占有幅(人+自転車)が、100cm程度の車両を基本に検討

※(参考) 押し歩き(普通自転車W=60cm)の占有幅 W=80cm ※対向時 W=180cm

(参考:様々な車両)



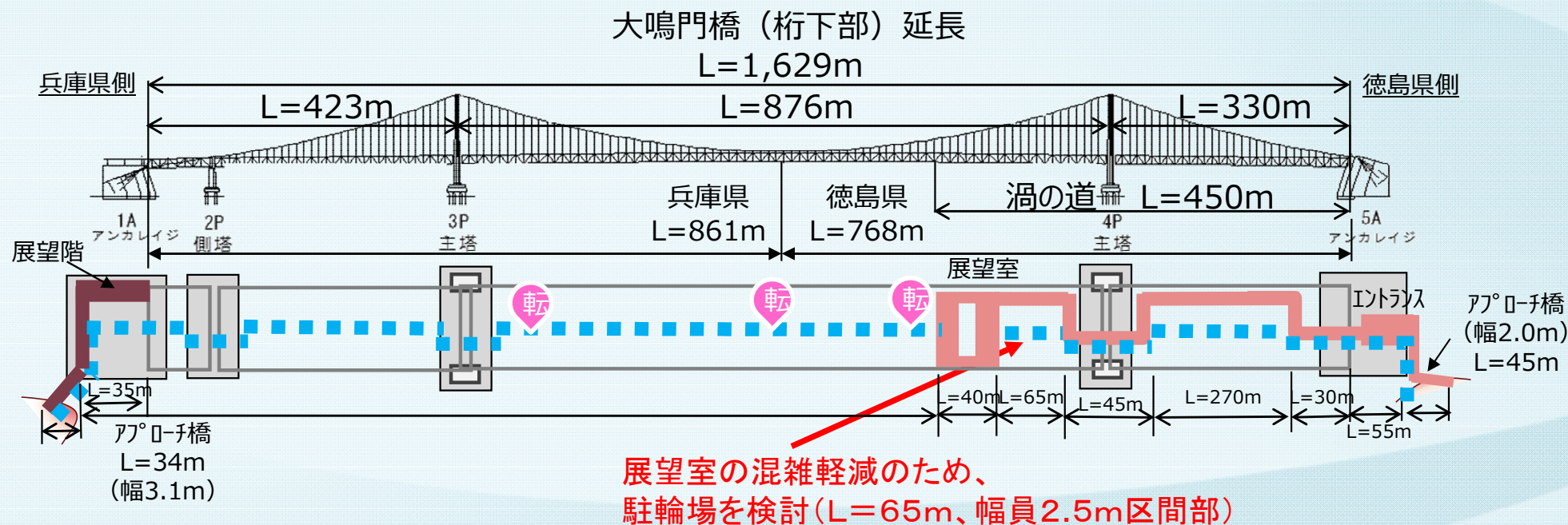
(参考:対向イメージ ※渦の道W=2m)



## <意見：展望室隣接駐輪場>

- 様々な自転車(スタンドあり・なし)が駐輪できることが必要

→ 利用対象車種の検討に合わせ、適切な設備を検討



## <意見：展望室、緊急車両転回所(展望所)の魅力アップ>

- 「押し歩きたい」と思わせる仕掛け、  
「押し歩きしやすく」する工夫、  
休憩しながら景色が楽しめる工夫が必要

→ 引き続き、検討部会等で議論を継続(利用者目線で検討)

## <意見：通行ルール全般>

- 「自転車歩行者専用道路」のルールを準拠するのが分かりやすい
- 子どもが安心して走行できる施設とすることが重要

→引き続き、検討部会等で議論を継続

## (参考)「路面標示」の検討案

自転車・歩行者が相互視認



しまなみ海道と同様



## <意見:「鳴門公園」の受入体制の充実>

- 「エディ」は、ビジターセンターとしての機能が必要
- 「エディ」は、サイクルツーリズムの拠点として活用の幅を広げることが重要
- 鳴門公園内の一方通行も、一周する楽しさがあるような工夫

→「エディ」にサイクルステーション機能を整備する方向で検討中

→引き続き、検討部会等で議論を継続

(架橋記念館「エディ」へのサイクルステーション機能拡充イメージ)



(参考: サイクルステーション UZU PARK)





<意見：県内各地への誘導・連携等>

- サイクリングのための周辺道路整備が必要
- 誘導のためのサインが重要
- 県内施設とのセット券ができれば良い
- 「ウチノ海総合公園」を活用した初心者向けのコース等の検討

→「自転車活用推進計画」との整合を図りながら進める

<意見：その他>

- 淡路からの経済波及効果を考えるなら、生活道として来てもらうことも考えるべき
- 大鳴門橋の桁下トラス(自転車道空間にあるトラス)にネーミングライツできないか

→今後、まずは、課題の有無等を整理